

予報期間 10月3日から10月9日まで

◆今期間のポイント

<主要しょう乱の概要>

- 台風第27号については最新の台風予報を参照。
- 5日は、低気圧が朝鮮半島付近から日本海へ進む。華中から西日本に前線がのびる。
- 6日は、低気圧がオホーツク海へ進み、前線が北日本付近を通過する。
- 7日から9日にかけて、高気圧が黄海から日本の東に移動する。日本の南は次第に気圧の谷となる。

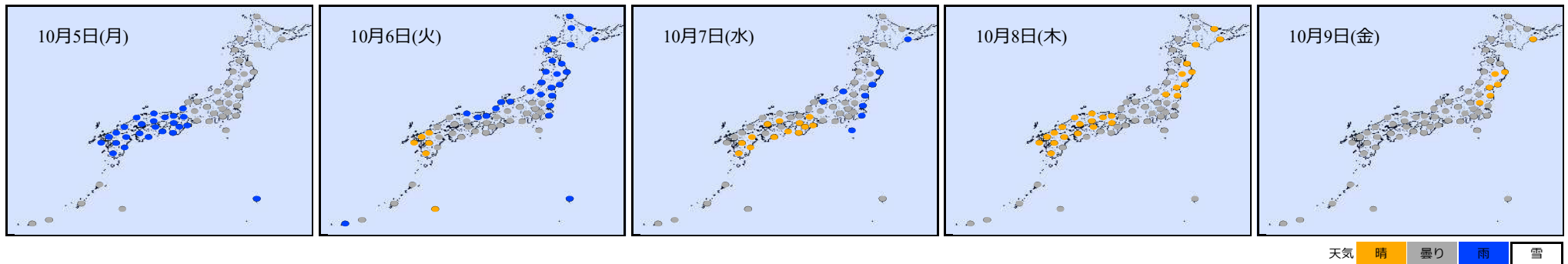
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 5日から6日頃にかけて、小笠原諸島では台風第27号の影響でうねりを伴って波が高くなり、大しけとなる所があり、台風の進路等によっては大荒れや警報級の大雨となるおそれがある。
- 6日から7日頃は、北日本と東日本では台風第27号の影響でうねりを伴って波が高くなり、台風の進路等によっては大しけとなるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

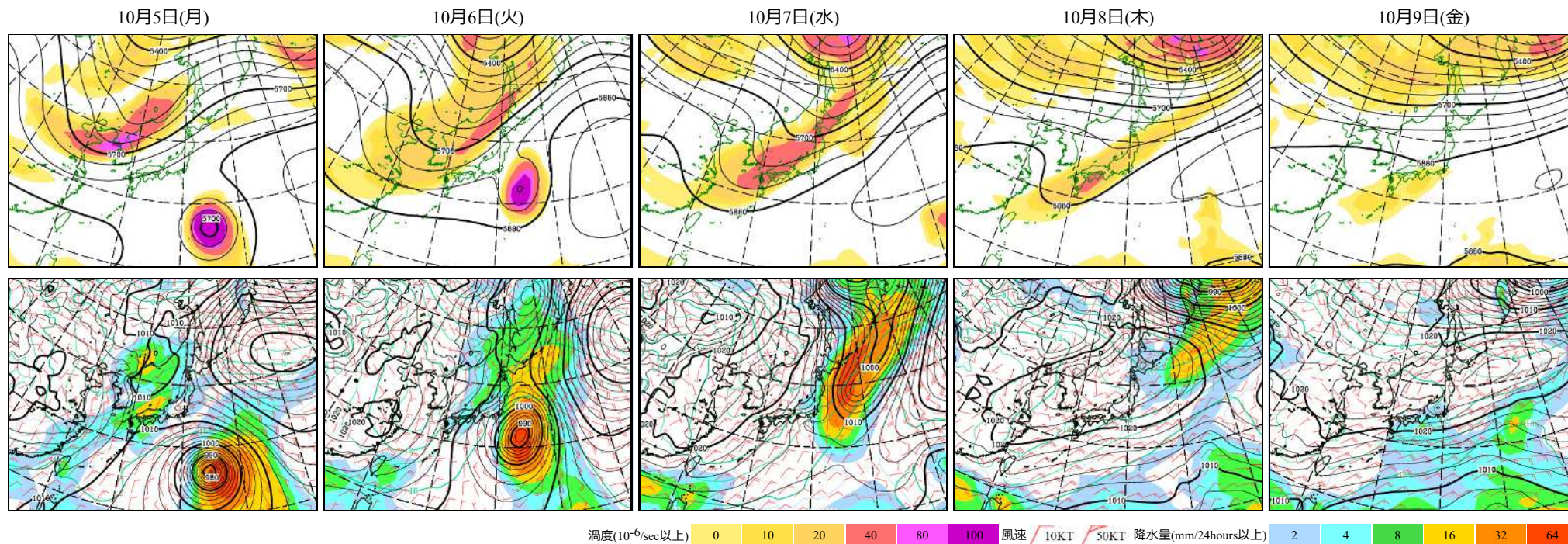
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

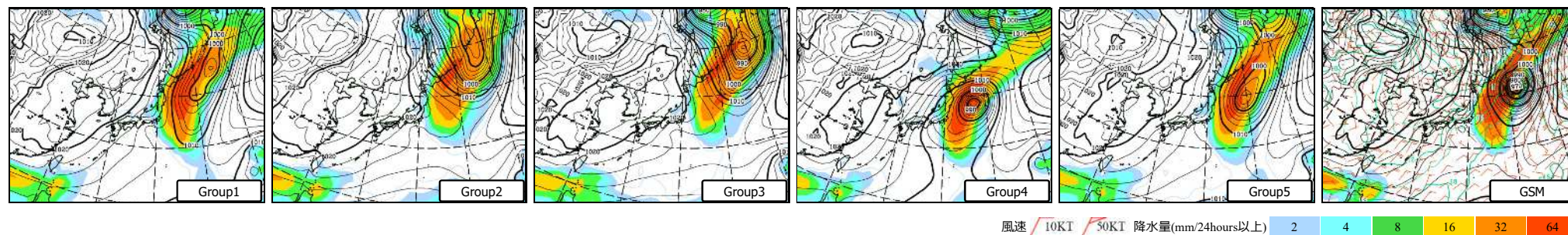


- 北日本と東日本は、5日から7日にかけては曇りや雨の降る所が多い。その後は、曇りや晴れの日が多い。
- 西日本は、5日と6日は曇りや雨の降る所が多いが、6日は晴れる所もある。その後は、曇りや晴れの日が多い。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の降る所が多いが、6日は晴れる所もある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆10月7日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、大きな初期値変わりはないが、5日から7日にかけて黄海から日本海に進むトラフが深く、遅くなり、その後は浅くなった。8日に黄海付近に進むリッジが強くなった。地上は、5日に沿海州付近で形成される低気圧は弱まったが、6日にオホーツク海に進むと強くなった。6日から8日にかけて華中から日本海、日本の東に移動する高気圧が強くなった。
- 7日にかけて各モデル概ね揃っているが、その後は次第に、上空のトラフやリッジ、地上の高気圧の位置や張り出しの違いがでてくる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。